

Conférence

William Marx

Professeur à l'Université Paris Nanterre

« Pourquoi défendre la littérature ? »

Vendredi 4 novembre 2016, 18h00-19h30

Université de Tokyo (Hongo)

Faculté des Lettres, bâtiment 2, 2F, la grande salle 1

Traduction simultanée entrée libre

講演会のお知らせ

ウィリアム・マルクス

パリ・ナンテール大学教授

「なぜ文学を擁護するのか？」

2016年11月4日（金）18時00－19時30

東京大学 本郷キャンパス

法文2号館2階1大教室

同時通訳付き 入場無料 予約不要

フランス語フランス文学研究室 (Département de langue et littérature françaises)

03.5841.3842 futsibun@l.u-tokyo.ac.jp

ウィリアム・マルクス教授（パリ・ナンテール大学）は、批評家として、*L'Adieu à la littérature*（『文学との訣別』、2005年）、*Vie du lettré*（『文人伝』、2009年）、*Le Tombeau d'Edipe. Pour une tragédie sans tragique*（『オイディプスの墓——悲劇なき悲劇のために』、2012年）——いずれも水声社より刊行予定——、*La Haine de la littérature*（『文学への憎しみ』、2015年）等の著作を通して、文学への見方を一新しつつけています。小説、抒情詩、戯曲に限定された近代文学の枠組みそのものを批判的に検討し、これまでにない視点から書くという営み、読むという営みを論じるマルクス先生に、いま文学を学ぶことの意義についてお話しいたします。同時通訳付きの講演によって、問題意識を広く共有することを、主催者として願っています。